

全国視能訓練士学校協会

平成 24 年度教員研修会報告書

平成 25 年 3 月

平成 24 年度教員研修ワーキンググループ

はじめに

第5回教員研修を開催することができました。第1回から第4回まで教育講演とコマシラバス作成のグループワークの形態を続けてきましたが、今回はじめて教育講演のみで企画しました。

この教員研修会は、教員の資質向上と教育的指導内容の充実を図ることを目的としていることから、初回から教育講演を行ってきました。第1回は教育全般の展望、第2回は現代の学生の状況（心理）、第3回は教員側の教育スキルの向上を目的として、PBL テュートリアル基礎を学びました。前回の第4回は、学生の「自己肯定感」を育成するパーソナルポートフォリオを内容として学んできました。そして、今回の教育講演は「学生の変遷と対応方法」というテーマで、滋慶トータルサポートセンターの鈴森剛志先生にご講演いただきました。

今回、教育講演のみの内容でありましたが、2日間の日程では時間が足りないくらいの充実した講演であったと思います。

また、賛助会員によるセミナーは、「最新の累進屈折力レンズ」(HOYA 株式会社)を行いました。また、器械展示には、株式会社ティエムアイ、HOYA 株式会社、ジャパンフォーカス株式会社の3社から出展いただきました。

以上、ここに第5回教員研修会の報告をさせていただきます。

平成25年3月吉日

平成24年度教員研修ワーキンググループ

代表 松井康樹（平成医療専門学院）

佐方暢子（大分視能訓練士専門学校）

小林泰子（川崎医療福祉大学）

横田敏子（大阪医療福祉専門学校）

目 次

研修日程	-----	1
教育講演		
資 料	-----	4
講師略歴	-----	9
グループワーク		
各班発表スライド	-----	13
賛助会員協賛企画	-----	23
研修風景（写真）	-----	30
アンケート		
フォーマット	-----	34
アンケート結果	-----	36
意見・感想	-----	39
アンケート単純集計	-----	48
会長総評	-----	50
編集後記	-----	53
加盟校一覧	-----	54

平成 24 年度 全国視能訓練士学校協会

第 5 回教員研修 プログラム

- 目的
1. 視能訓練士養成施設の教育レベルの向上、専門課程の教育指導法の共有化、養成校教員の個々の指導スキルの向上
 2. 第 5 回の研修では、学生カウンセリングについて学ぶ。

受講対象者	全国視能訓練士学校協会 専任教員	
開催日時	平成 24 年 8 月 23 日（木）～8 月 24 日（金）	
研修会場	大阪医療福祉専門学校	
教育講演・研修	講演：「学生カウンセリングの技法とグループワークでの症例検討」 講師：鈴森 剛志先生 (滋慶トータルサポートセンター)	
8 月 23 日（木）	12:30	受付開始
	13:00	初日研修開始
	13:00～13:20（20 分）	概略説明
	13:20～18:20（300 分）	教育講演, グループワーク（講師：鈴森剛史先生） (休憩あり)
	19:00～	懇親会
	20:30	中締め
	21:00	第 1 日目終了
8 月 24 日（金）	9:00	開場
	9:15	2 日目研修開始
	9:15～11:45（150 分）	教育講演・研修（講師：鈴森剛史先生）
	11:45～12:00（15 分）	会場転換及び休憩
	12:00～12:50（50 分）	賛助会員セミナー（HOYA 株式会社） 「最新の累進屈折力レンズ」
	13:00～13:30（30 分）	研修総括・修了証授与、写真撮影 研修終了、振り返りシート、研修後アンケート記載

教育講演

教育講演「学生カウンセリングの技法と

グループワークでの症例検討」

鈴木 剛志 先生

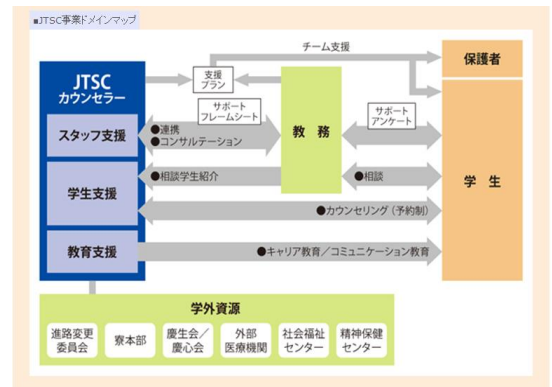
学生の変遷と対応方法

JTSC 滋慶トータルサポートセンター
センター長 鈴木 剛志

はじめに・・・

JTSC 滋慶トータルサポートセンターとは？

はじめに・・・



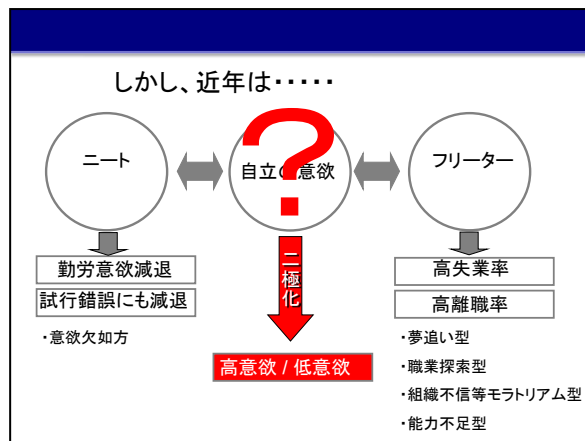
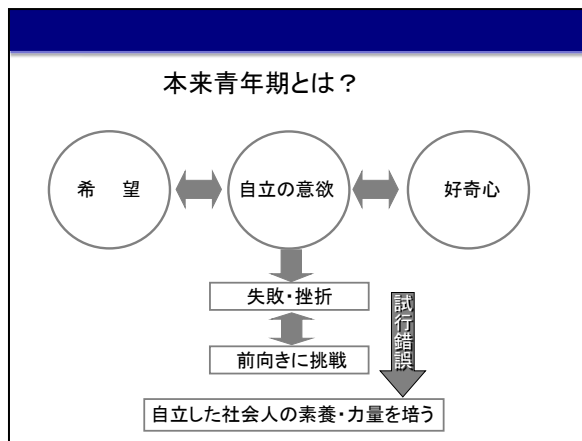
本講義の内容:「学生の変遷と対応方法」

Part1. マクロの理解「若者の意識傾向」

Part2. ミクロの理解「サポートアンケートからみた
学生傾向と背景」

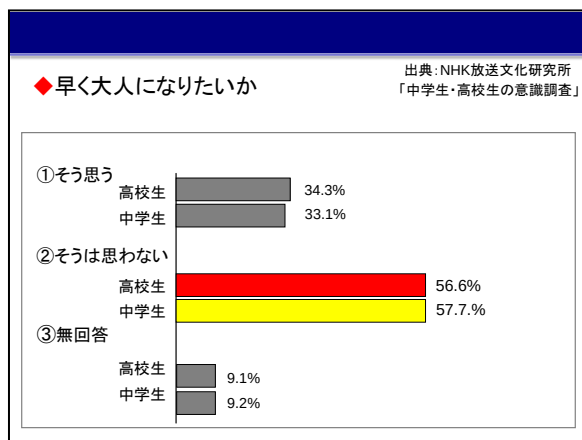
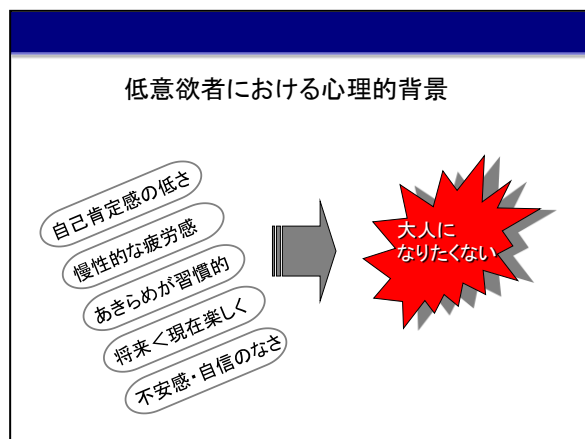
Part3. 指導者に求められること

Part1. マクロの理解「若者の意識傾向」



現在の若者の特徴

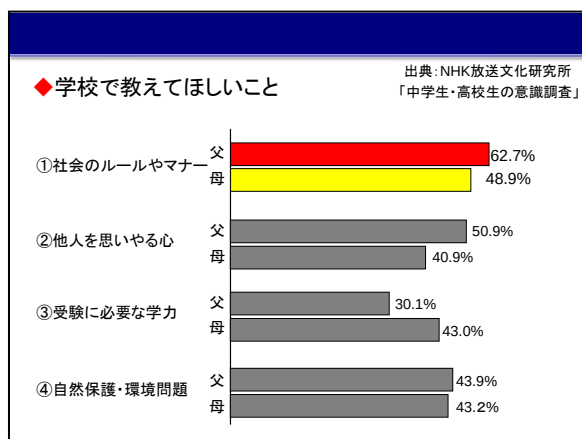
- 冷めた意識
- 挫折に極端に脆弱→小さな失敗や他者の批判を恐れる
- 個人主義→迷惑かけなければ何でもあり
- 特殊なやさしさ→相手の心に立ち入らないという姿勢
- 明確な価値基準を持つものは集団で浮く



◆ 大人になりたくない理由

出典: NHK放送文化研究所
「中学生・高校生の意識調査」

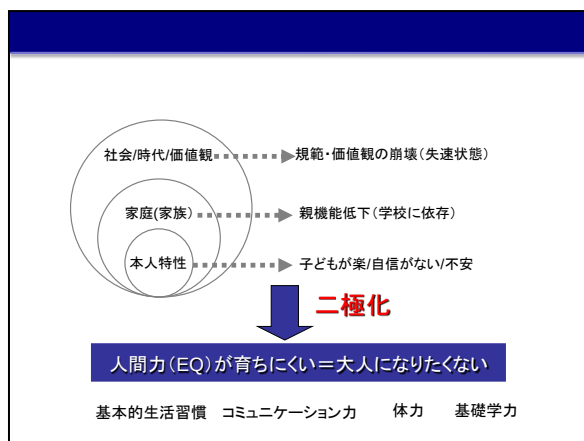
子供でいる方が楽だから	32.9%
大人になることが不安	18.2%
仕事などをやっていく自信がない	16.6%
周りの大人は身勝手な人が多いから	13.2%
働かなくてはいけないから	8.2%
夢もやりたいこともないから	6.3%
わからない・無回答	4.6%
その他	2.4%



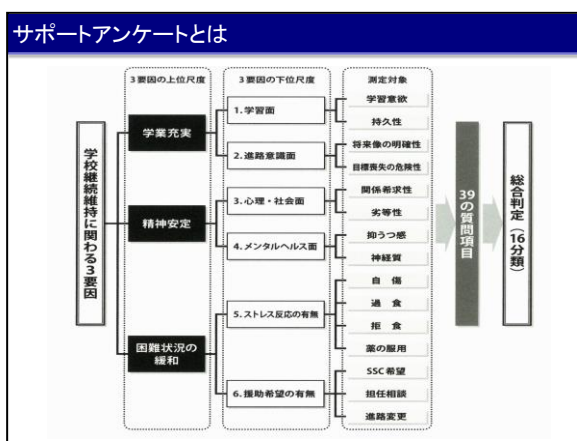
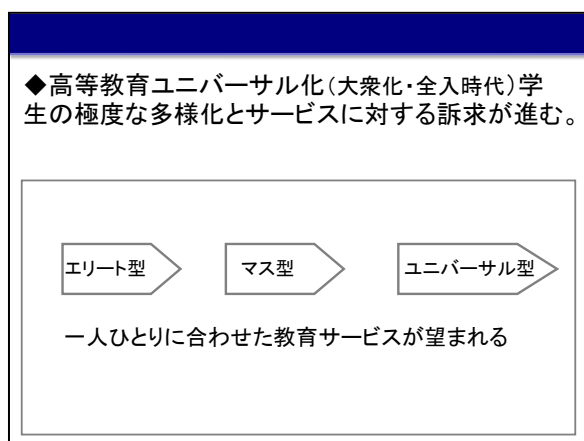
◆ どんな親でいたいのか？

出典: NHK放送文化研究所
「中学生・高校生の意識調査」

できるだけ子どもの自由を尊重する親	父 83.8%	母 79.2%
何でも話し合える友達のような親	父 59.0%	母 83.8%
子どもを甘やかさない厳しい親	父 17.0%	母 11.7%



Part2. ミクロの理解 「サポートアンケートからみた学生傾向と背景」

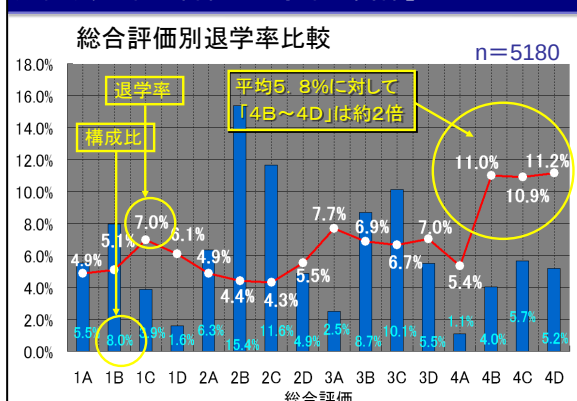


判定方法と個人結果の表記

		精神安定尺度			
		安定 ←			→ 不安定
学業充実尺度	高	A	B	C	D
	2	1A	1A	1A	1D
	3	2A	2B	2C	2D
	4	3A	3B	3C	3D
学業充実尺度	低	4A	4B	4C	4D
	1	4A	4B	4C	4D
	2	4A	4B	4C	4D
	3	4A	4B	4C	4D

SSC希望	進路変更	総合評価	学習意欲	持続性	将来の明確性	目標喪失の危険性	関係希求	劣等感	抑鬱感	神経質	自傷	過食	拒食	薬
なし	希望	4B	6点	6点	6点	12点	6点	5点	10点	7点	Y	Y	N	N

先行研究「総合評価と退学率の関係」



個人事例と社会背景の考察

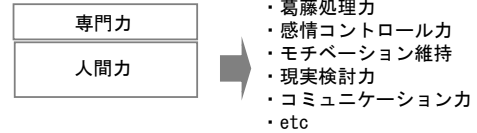
青年期の不全は構造的問題と捉えられる

- 学校で習っていないことは知らない。
- 家庭で教わっていないことはわからない。
- やったことのないことは出来ない。
- 成功体験がないと自信はもてない。
- 支えがないとがんばれない。

Part3. 指導者に求められること

- ◆若者の現状をみると人間力も含めて育成・支援することが必須である。

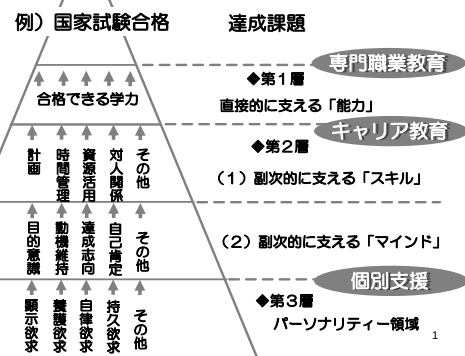
人間力とは現実社会を乗りきる力



キーワード

キャリア教育～指導と支援の観点

3層を支えて職業人教育をする



指導者に求められること

「2:6:2」の法則と求められるスキル

2	上位層 20%	▶上位層の傾向: 環境を活用して主体的に伸びる学生 対応に必要な教育スキル: コーディネイトスキル
6	中位層 60%	▶中上位の傾向: 主体的に取り組むよう行動を促進する必要がある学生 対応に必要な教育スキル: コーチングスキル ▶中下位の傾向: 方法や手順をより具体的に教える必要がある学生 対応に必要な教育スキル: ティーチングスキル
2	下位層 20%	▶下位層の傾向: 気持ちを理解して力に応じた課題を一緒に検討するなど具体的に援助する必要がある学生 対応に必要な教育スキル: カウンセリングスキル

■対話によるキャリア教育の充実がポイント

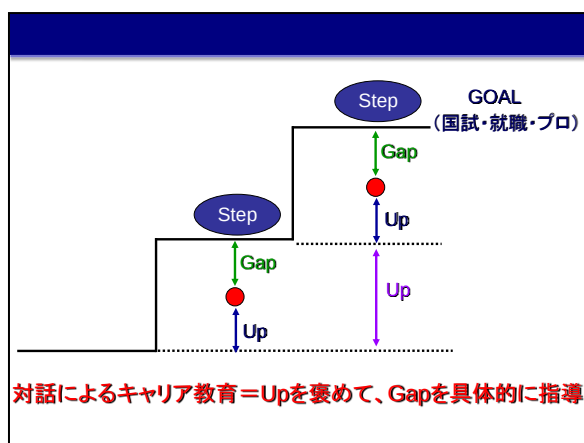
本人にとって支援的な安定した環境が維持される



意欲・能力を開花する可能性が上がる

教育する側の人間力が最大の資源

「対話による」って何？



「褒めることは効果があるのか？」

【キャロル・S・ドゥウェックの実験】

【キャロル・S・ドゥウェックの実験】

<TEST 1>

学童に簡単なIQテスト(パズル)

A群: できたことを褒めた
(成果/努力)

B群: 何も褒めない

C群: 知能を褒めた
(素質)

【キャロル・S・ドゥウェックの実験】

<TEST 2>

難解・容易を選択可能

A群: 90%
難解問題を選択

B群: 選択にばらつき

C群: 90%
簡単な問題を選択

【キャロル・S・ドゥウェックの実験】

<TEST 3>

全ての群に極めて難解問題を付与

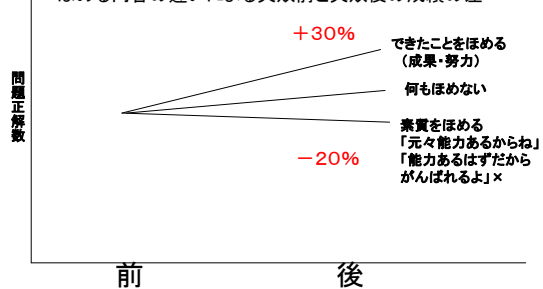
→失敗・挫折の体験をさせる

<TEST 4>

全ての群に再度IQテスト

【キャロル・S・ドゥウェックの実験】

ほめる内容の違いによる失敗前と失敗後の成績の差



【結論: キャロル・S・ドゥウェックの実験】

具体的に褒めると...

モチベーションと成果は上がりやすくなる

※自己制御できるものを褒められると人は力を発揮する

終わりに...

【講師略歴】 鈴森 剛志（すずもり たけし）先生

1964 年 北海道生まれ

シニア産業カウンセラー

日本産業カウンセラー協会認定キャリアコンサルタント

シンガーソングライターとして 86 年メジャーデビュー、
その後、音楽講師を経てカウンセラーの道を歩む。

現在、滋慶トータルサポートセンター センター長



滋慶トータルサポートセンターは（以下 JTSC）1998 年に学校法人滋慶学園によって
設立された学生相談機関。母体となる滋慶学園は、その理念を「職業人教育を通じて社会に貢献
する」と掲げ、グループ 5 6 校において専門職業教育とキャリア教育による職業人の育成を展開。
JTSC はその理念のもと、青年期の心理発達過程におけるクライシス（危機）の支援を行っている。

学校全体が、学生の個別性に対応して「個を育てるコミュニティー」へと発展することを目指し
て、個別カウンセリング、教職員対象の研修の実施、コミュニケーション教育の授業化、
学生傾向の分析研究報告、チーム支援の標準化など、様々なサポートシステムを提供している。

グループワーク

平成24年度教員研修会グループワーク

A 班

学んだこと

- ◎ 若者の傾向を把握
- ◎ 問題点を共有し、解決に向けて一緒に取り組む
 - ・信頼関係の構築
 - ・学生が納得するまで話し合い(誠意)
 - ・方法を知らない学生に対しては一から説明
 - ・期限を設定、(学力やコミュニケーション能力向上)出来たら褒める！

心理的に問題がる学生を指導する場合は
学生と教員間で解決するのではなく、カウンセラーや医師を含めた
集団で問題解決に取り組む

課題と展望

教員としてのスキルアップ

学生の問題解決への道

所属する学校の理解と協力が必要

疑問点

私たちに出来るのか？



平成24年度教員研修会 グループワーク
グループB まとめ

学習したこと

- 教員全体が同じ意識・共通した悩みを持っている
- 精神論だけではない
 - すべてをマインドのせいせずスキルが足りないかどうかを見極める
 - 問題をスキルとマインドを別として考え、学生に認識させる

学習したこと

- 褒めることが大事(相手を認める)
 - 褒めるにしてもクリアできるところは提示しなくてはならない
 - ギャップを埋めるために具体的提示が必要
- いろいろな学生・保護者がいることを認識しなくてはならない
- 学生・保護者との信頼関係が大切
 - 子供だけでなく保護者の能力の見極めも重要
 - 本来は親がすべきことであることを学校が担わなくてはならない(ただ限界がある)

学習したこと

- 問題ある学生を特別扱いすることはない
- 視能訓練士になるだけでなく、その人の人生を考えることも必要である
- 教員としての質をあげる必要がある
 - 視能訓練士とは別の教員としての能力が必要である

課題と展望

- その問題を人間として見るのではなく、事象として捉えていく
- 共感できるが、どこまで立ち入ることができるか(家族関係等)
 - アドバイス・指導することにより、かえって悪い方向に行くこともあるのではないか
- スキルをどのように見極めればよいか
 - 医療機関等にすすめたらよいのか

疑問

- 2・6・2の法則→下位層中位層に対する対応に上位層が気持ちよく思わない。どのような対応をすればよいか
- 学校で歩み寄る努力はしているが、社会に出た時に受け止めとめてもらえない可能性がある
 - 厳しさを残しつつ指導する方法はありますか
 - (甘さ・厳しさのバランスはありますか)

グループCの事例とその解決法

グループC

事例

19歳女性（1年生） 一人暮らし 家庭裕福

入学前からモチベーション低い
授業に出席はするが、やる気がみられない
補習をすれば理解は速い
定期試験にて再試となった
再試はぎりぎり合格した

目的

- やる気のない学生をいかにやる気にさせるか

方法

- ①やる気のない原因・理由の検索
- ・他に向いている職業があるのでは？

面談をして本人の価値観や将来像を確かめる

方法

- ②視能訓練士の仕事の魅力を伝える？

卒業生の視能訓練士や現場の視能訓練士の話を聞くチャンスをつくる？

スーパーバイザーの助言

- ・現実を伝える
- ・1人でできないので枠組みを作る
- ・褒める（変わらずできていること・変化があったこと）

課題と展望

課題

- ・学生の真意（本音）を理解する
- ・自分は教員としてまだまだ未熟であるので、どこまで本音に迫れるか

課題と展望

課題

- ・学生の真意（本音）を理解する
- ・自分は教員としてまだまだ未熟であるので、どこまで本音に迫れるか

展望

- ・今回の研修から学んだことを、学生面談に生かして学生の自己実現に迫りたい。

退学希望者への カウンセリング方法

<D班>

1年課程の学生

入学して1ヶ月で「退学希望」を担任に相談、面談となる
→入って間もないのでもう少し頑張るよう説得

6月 再度「退学希望」を相談

→成績不良が理由？と判断し補習などを実施し、続けるよう促す

10月 保護者よりクラス内のいじめが原因と強いクレーム

→クラス全員の面談を実施し、いじめ問題は解決したが
実習数週間を残し本人より体調不良(心身症)を理由
に休学希望

3月末退学となる

<鈴森先生からのSV>

- 退学希望を受理するタイミング
→原因を探る
 - ①学業不振か？:成績が上がれば続ける？
 - ②いじめか？
 - ③モチベーション低下か？:ORTになりたい？

<課題>

- 限られた修業年限の中でどのように「信頼関係」を構築するか

<展望>

- 日常的な学生との積極的なコミュニケーション
 - 効果的な時期のアンケート実施
 - 定期的な面談実施(可能な限り複数回)
 - 教員⇔学生、学生⇔学生の良い関係
-
- ①問題点の抽出と整理
 - ②色々な選択肢(退学も含む)について
納得できる解決策を導く

時代と学生の変化に 対応するためには

E班

現代学生の気質の特性 (子どもがどう変わったか)

1. 大人になりきれない
2. 平均でいたがる
3. 何でも手に入るから努力しない
4. 考える能力が低い

問題

1. 時代の変化とともに学生自体の勉強の仕方にも変化が生じてきている
2. それに合わせて教員側も対応していかなければならない。

親の特性(親がどう変わったか)

1. 子どもに嫌われたくない
2. 学校に責任をなすりつける

step2:問題が起こりそうな場合

1. 面談などを集中してやる
2. 親御さんと早めに話す(事前にこのような兆候があるとか、言っておくほうが、小出しにしていってほうがよい)

step3:問題が起こった場合

1. 問題点を明確にする
2. 問題点を大項目に二分する
 - ①できること
 - ②できないこと

(1)できること

- ①学校側の援助としてできること
- ②本人の能力、できる分野をほめる

(2)できないこと

- ①学校側の体制(システムのな問題)
- ②他人との関係の問題
- ③本人の問題→本人が不足していることをできるようにするためにはいくつかの方策を呈示して選択させる

結論

(よりよい教育を行っていくための時代に 合った方法とは)

1. 今現在は数値化できてない、感覚で整理している状態のため、早めの対応をするために、チャートなどを作る
2. 学生の気質に合わせて、教員自身の資質向上を目指す
3. 教員の振り返りも大事、教員自身にフィードバックをしていかないといけない)

グループF

教員研修2012

事例

- ✕ 1年生（2回目）、女性、母子家庭
- ✕ 進路変更希望
- ✕ 幼稚園教員になりたかった
 - + 医療系に対する興味がないので勉強していない
- ✕ 母親の強い勧めで医療職を選択
- ✕ 成績は下位

対応法

- ✕ 本人に対して
 - + 幼稚園教員の現実
 - + 視能訓練士の現実を話した上で、
 - 1) 仕方がないけど続ける
 - 2) 親と戦ってでも幼稚園教員を目指すを選択させる。

対応法

- ✕ 母親に対して
 - + 母親の考えているキャリアプランも間違っているわけではないと思う。
 - + しかし、本人は幼稚園教員になりたいと言っている。
 - + 子供と直接よく話し合ってみて欲しい。
- + 親子ともに話し合いから逃げる可能性がある
→期限を切る。

疑問点

- ✕ 3者面談が良い？2者別々の方が良い？

全体として学んだこと

- ✕ 「できること」と「できないこと」
- ✕ 人生の選択として考えてあげる
- ✕ 聞くからには対応する責任がある
- ✕ 具体的な指示、見通しを持った選択の提示
- ✕ 普通のことのことが当たり前でできることを褒める
- ✕ 「以前は～」 「前の学生は～」
- ✕ 個々の特性を見る

全体として学んだことの疑問点

- ✕ 「能力がない」「意思がない」の見極め
- ✕ 褒めながら厳しさを伝えるには？

G班の発表



学習したこと1

- ※ 今の学生の実態
 - 未熟な青年期の実態(主体性のなさ)
 - (心が)疲れている今の学生
 - 2:6:2(実感としては2極化?)
- ※ 社会構造の変化
 - 家庭力・地域力・人間力の低下
 - 学生、生徒、家庭との信頼関係の変化
 - 高等教育の大衆化・全入時代

今の教育に必要とされているもの→
教科(専門)教育の蓄積はあるが心のケアに関する方法論



学習したこと2

- ※ 仕組みづくりの必要性
 - サポート体制の重要性とその運用について
 - 。 滋慶会のサポート体制
- ※ 具体的な対応方法
 - できること、できないことの区別ははっきり提示。
 - 小さな成功体験を積ませる(成果に対して、また継続に対して変化していないことに対してほめる
具体行動と感情は分ける。
 - むいていないとは言えないが、行き詰ったときにどうするか。ここまでは、というレベルはいわないといけない。やる気があるならことん付き合うべき。
 - その人を認めるが評価まではしない
 - 親の精神構造を理解しつつその学生にどう対応するか。
 - 明確なゴールや選択肢を示すことが大切。
- ※ グループ討議
 - どの学校も同じような悩みを持っている。
 - 研修の必要性



課題と展望

- ※ 仕組みづくりの必要性
 - サポート体制の重要性とその運用について
 - 。 全部教員が抱え込むのではなく、シェア(協働)すること。
 - 。 医師・カウンセラー・教員それぞれの専門の人間が当たる。
 - 。 研修を受けて学生へ還元する。
- ※ 具体的な対応方法
 - できること、できないことの区別ははっきり提示。
 - 。 →潜在能力を刺激して学生の能力を引き出す

その見極めが大切

- 誠意を持って接すれば学生には響く。
- 学生とことんまで付き合う。



贊助會員協贊企画

賛助会員協賛企画

賛助会員によるセミナーは、「最新の累進屈折力レンズ」(HOYA 株式会社)を行いました。また、器械展示には、株式会社ティエムアイ、HOYA、ジャパンフォーカス株式会社の3社から出展いただきました

当学校協会では、賛助会員として現在5社からご賛同、ご協力をいただいている。研修の機会に併せて学校協会関係者に器材や知識の最新情報を周知できると考え協賛のご依頼をしたところ、今回4社からのご協力を得ることができたので、併せて報告する。

〔第5回研修会協賛〕

- 株式会社ティエムアイ : 器械展示
- HOYA 株式会社 : 器械展示
- ジャパンフォーカス株式会社 : 器械展示
- HOYA 株式会社 : ランチョンセミナー



＜器械展示＞

株式会社ティエムアイからは毎年多くの商品を展示していただいている。

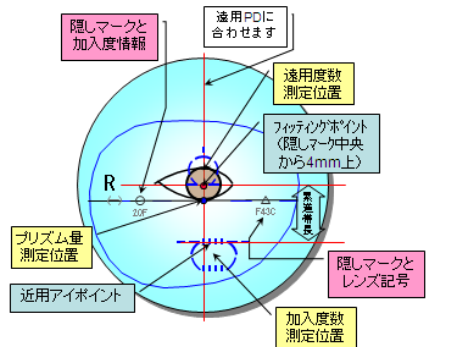
また、HOYA 株式会社、ジャパンフォーカス株式会社からも多くの商品の展示をしていただき新しい商品に実際に触れることが出来た。今回は、会の初めに短い時間ではあったが、器械展示のご紹介をさせていただいた。ただ、毎年の事ではあるが時間の関係でゆっくりと見る時間が少なかったのが、残念であった。



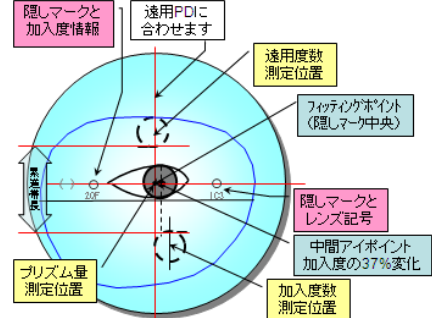
<ランチョンセミナー>

HOYA 株式会社の大嶽様に年々色々な種類、構造のレンズが発売されている累進屈折力レンズについてお話をいただいた。

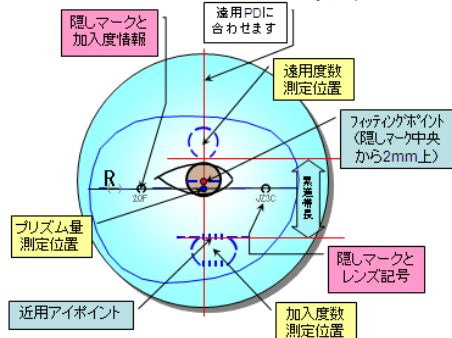
遠近 (HOYALUX FD) のレイアウト



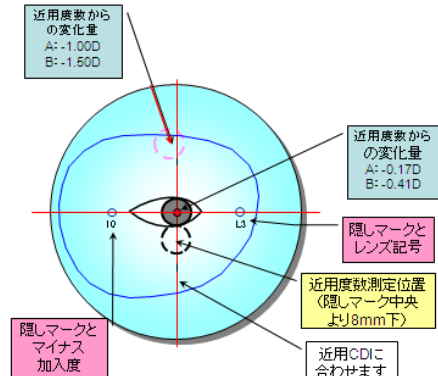
中近 (HOYA iDクリアーク) のレイアウト



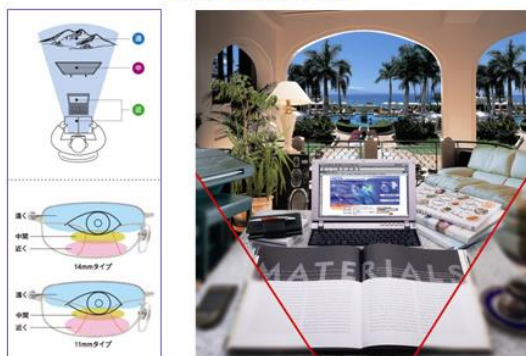
遠近両用 (中近重視タイプ) HOYALUX JAZZ のレイアウト



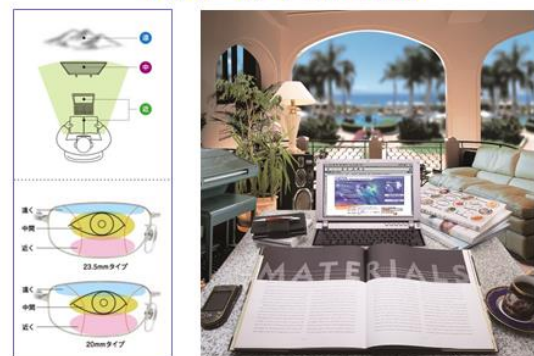
近近 (HOYA レクチュール) のレイアウト



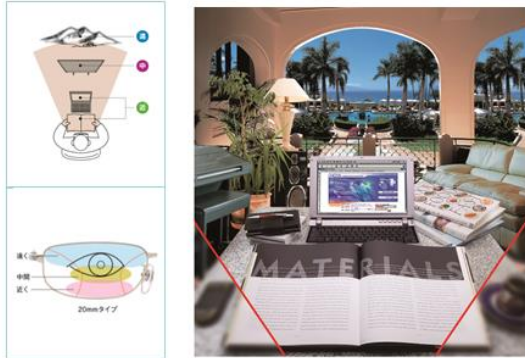
遠近両用タイプ



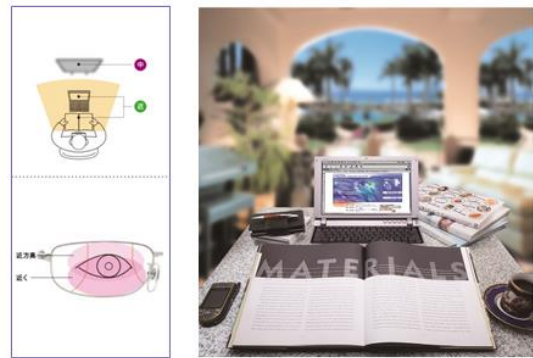
中近タイプ (室内専用)



遠近タイプ(中近重視)、JAZ



近近タイプ(デスクワーク用)

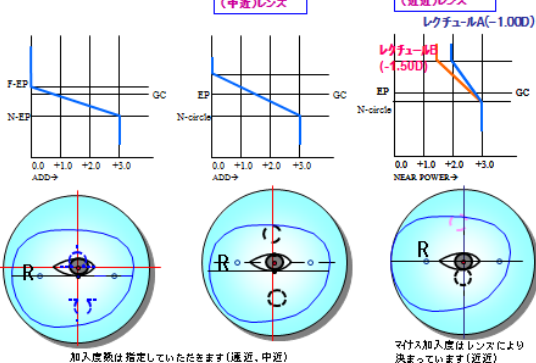


縦方向の度数変化のイメージグラフ (S0.00D Add3.00D、近近はS+3.00D)

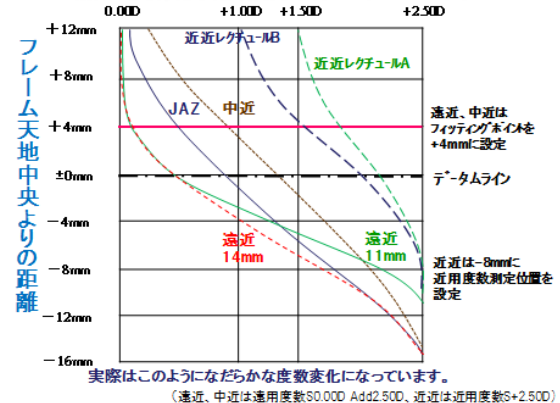
遠近両用レンズ

室内用(中近)レンズ

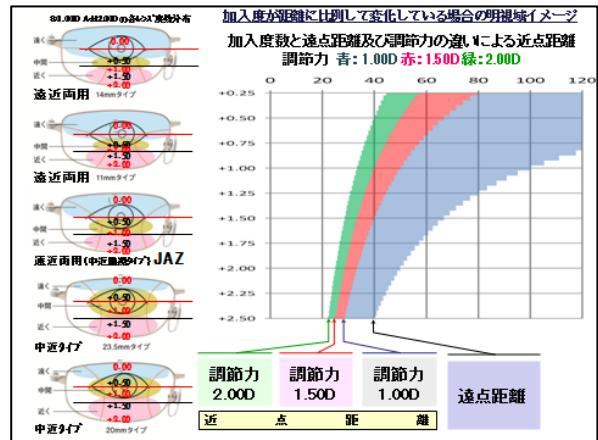
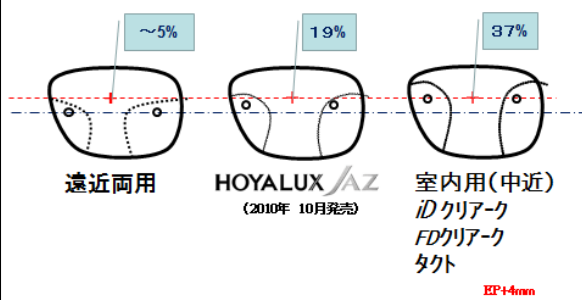
デスクワーク用(近近)レンズ



加入度数変化(縦方向)のイメージ図



レンズ別フィッティングポイントにおける加入度数変化率



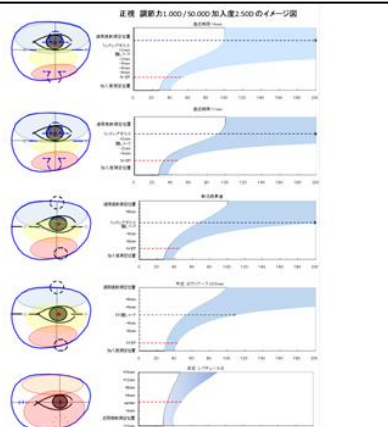
遠近14mm

遠近11mm

新発想 汎用累進
HOYALUX JAZ

室内用(中近)

デスクワーク用
(近近)レシチュールB



HOYALUX(遠近)の処方箋は 遠用度数と加入度、遠用PDは 無限遠方視の瞳孔距離でご記入下さい

眼鏡処方箋

様 氏 2008/3/19

遠用度数、遠用片眼
PDを記入して下さい

	S	TC	Ax	Prism	瞳孔距離
遠用	R -2.50 L -2.75	-0.50	180		31.5
近用	R 0.00 L -0.25	-0.50	180		

加入度数または
遠用に加入度を
加えた度数

遠近両用

近用のCDは
記入不要です

中近タイプ (iDクリアーク、FDクリアーク、タ外) の処方箋も
遠用度数と加入度そしてPD情報は
遠用PDを無限遠方視の瞳孔距離でご記入下さい

眼鏡処方箋

様 氏 2001/9/17

遠用度数CD(PD)は
遠用片眼PDmmを記入
して下さい

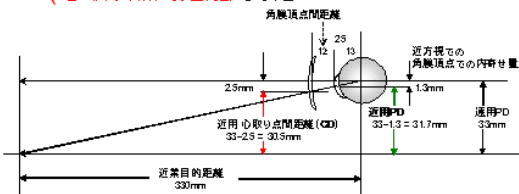
	S	TC	Ax	Prism	瞳孔距離
遠用	R -2.50 L -2.75	-0.50	180		31.5
近用	R 0.00 L -0.25	-0.50	180		

加入度数または
遠用に加入度を
加えた度数

摘要

中近

PD(瞳孔間距離)と近業目的距離の変化による
CD(心取り点間距離)変化



$$\frac{33}{330} = \frac{\text{内寄量}}{25} \quad \text{内寄量} = 2.50$$

$$\frac{33}{400} = \frac{\text{内寄量}}{27} \quad \text{内寄量} = 2.23$$

近業目的距離を400cm、
眼球回転中心〜レンズ裏面
の距離を27mmとした時

$$\frac{35}{400} = \frac{\text{内寄量}}{27} \quad \text{内寄量} = 2.36$$

遠用PDが
35mmの時



近近レクチュールの処方箋は
近用度数、近用CD及び
レンズタイプ(マイクス加入度)を
記入して下さい。

眼鏡処方箋

様 氏 2003/8/30

近用度数、近用CD
を記入して下さい

	S	TC	Ax	Prism	瞳孔距離
遠用	R L				
近用	R +2.50 L +2.00	+1.00	90		27.0 28.5

① レンズタイプを
記入して下さい

摘要

HOYA クチュール B (近用)

近点距離測定による調節力の確認

○ 遠用度数を補正した状態で測定



$$\frac{100}{\text{近点距離(cm)}} = \text{調節力(D)}$$



遠用度数のみ補正

⇒ 仮の加入度数を加えて(≒近用度数)
近点距離を測定をいたします。



この時、加入度数分は
単焦点テストレンズを
用います。

$$\frac{100}{\text{近点距離(cm)}} - \text{加入度(D)} = \text{調節力(D)}$$

- 近点距離が25cmより近い場合には加入度が
強過ぎます。(近業目的距離が40cmの場合)

近点距離 ⇒ 「調節力」早見表

近点距離	測定時の仮の加入度数							
	無し	0	1.00	1.25	1.50	1.75	2.00	2.25
20	5.00	4.00	3.75	3.50	3.25	3.00	2.75	2.50
21	4.75	3.75	3.50	3.25	3.00	2.75	2.50	2.25
22	4.50	3.50	3.25	3.00	2.75	2.50	2.25	2.00
23	4.25	3.25	3.00	2.75	2.50	2.25	2.00	1.75
24	4.00	3.00	2.75	2.50	2.25	2.00	1.75	1.50
25	3.75	2.75	2.50	2.25	2.00	1.75	1.50	1.25
26	3.50	2.50	2.25	2.00	1.75	1.50	1.25	1.00
27	3.25	2.25	2.00	1.75	1.50	1.25	1.00	0.75
28	3.00	2.00	1.75	1.50	1.25	1.00	0.75	0.50
29	2.75	1.75	1.50	1.25	1.00	0.75	0.50	0.25
30	2.50	1.50	1.25	1.00	0.75	0.50	0.25	0.00
31	2.25	1.25	1.00	0.75	0.50	0.25	0.00	-0.25
32	2.00	1.00	0.75	0.50	0.25	0.00	-0.25	-0.50
33	1.75	0.75	0.50	0.25	0.00	-0.25	-0.50	-0.75
34	1.50	0.50	0.25	0.00	-0.25	-0.50	-0.75	-1.00
35	1.25	0.25	0.00	-0.25	-0.50	-0.75	-1.00	-1.25
36	1.00	0.00	-0.25	-0.50	-0.75	-1.00	-1.25	-1.50
37	0.75	-0.25	-0.50	-0.75	-1.00	-1.25	-1.50	-1.75
38	0.50	-0.50	-0.75	-1.00	-1.25	-1.50	-1.75	-2.00
39	0.25	-0.75	-1.00	-1.25	-1.50	-1.75	-2.00	-2.25
40	0.00	-1.00	-1.25	-1.50	-1.75	-2.00	-2.25	-2.50

調節力と近点距離及び近業目的距離と加入度

年齢	近点距離	調節力	加入度			
			45cm	40cm	35cm	30cm
40才	22cm	4.5	—	—	—	0.25~0.50
	25cm	4.0	—	—	0.25	0.50~0.75
45才	29cm	3.5	—	0.25	0.50~0.75	1.00
	33cm	3.0	0.25	0.50	0.75~1.00	1.25~1.50
50才	40cm	2.5	0.50~0.75	0.75~1.00	1.25	1.50~1.75
	50cm	2.0	1.25	1.50	1.75~2.00	2.25~2.50
55才	67cm	1.5	1.50	1.75	2.00~2.25	2.50~2.75
	100cm	1.0	1.75	2.00	2.25~2.50	2.75~3.00
65才	200cm	0.5	2.00	2.25	2.50	3.00~3.25
	400cm	0.25	2.00	2.50	2.75	3.25

(調節力は人によって異なるので、必ず近点距離より測定して下さい。)

○ 遠近両用レンズ初装用の場合は加入度2.00D以下でまず慣れていただくこと
をお勧めいたします。

○ 加入度が2.00Dを超えると遠近両用と近近、中近の複装使用が便利です。

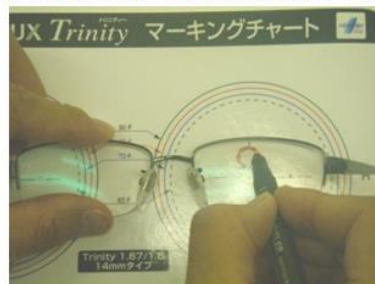
加入度数について

強過ぎないようにご注意ください

調節力(近点距離より測定)と
近業目的距離により決定します。

■60歳位で初めて遠近両用レンズを装用する場合
⇒まず、慣れることが重要です。
ユレを強く感じるような場合には加入度を2.00D位まで
にして新聞や値札程度が見えるようにします。
細かい文字等を見るには別途、近用のメガネを使用す
ることをお勧めします。
下方視を継続する能力がないと困難な場合があります。

遠用度数の簡易測定方法



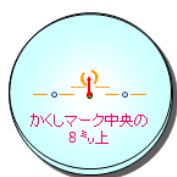
- ① レンズマークをひとつ印し、34mm離れたもう片方のマークにも印を付けます。
- ② 鼻側のマークの下にある記号によりレンズ種を特定します。
- ③ マーキングチャートにレンズのマークを重ねて、遠用度数測定位置を確認します。
- ④ 遠用度数測定位置にレンズメータの開口部を当てて測定します。

オートレンズメータのオートモードで示す測定位置は
正しい測定位置ではない可能性があります。

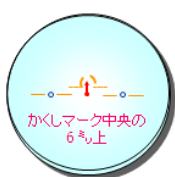
レンズ毎に測定位置を確認して下さい。
加入度は耳側かくしマーク下の数値で確認します。

HOYALUX遠近レンズの遠用度数測定位置

Trinity, iD, FD,
Summit TF/Premium/cd



SUMMIT pro



中近レンズの度数測定(推定)方法

- A) 遠用度数測定位置で遠用度数を測定し、かくしマーク下の加入度を確認して下さい。
- B) 遠用度数測定位置が削られている場合には、近用度数測定位置で近用度数を測定し、加入度を引き算して遠用度数を推定します。
- C) iD, FDクリアークの場合、プリズム測定位置で度数測定します。

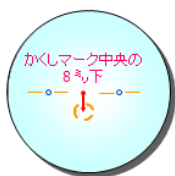
遠用S度数=測定S度数-加入度×37%

遠用C度数=測定C度数、軸そのままです。



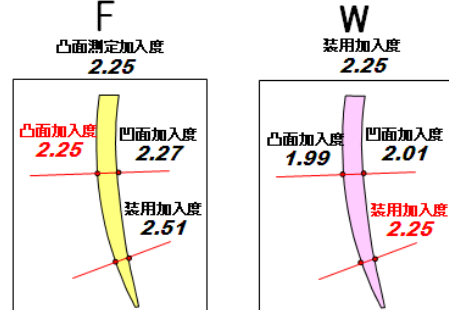
近近レンズの度数測定方法

- ① 近用度数測定位置で近用度数を測定して下さい。
- ② かくしマーク下の加入度を確認して下さい。
(アドパワー、レクチュールA,Bなどレンズ種を特定します。)



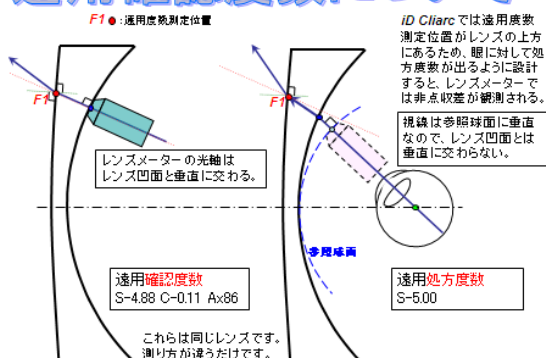
測定方式による加入度数の違い

(S-4.00 ADD +2.25 HOYALUX iDで作成の場合)

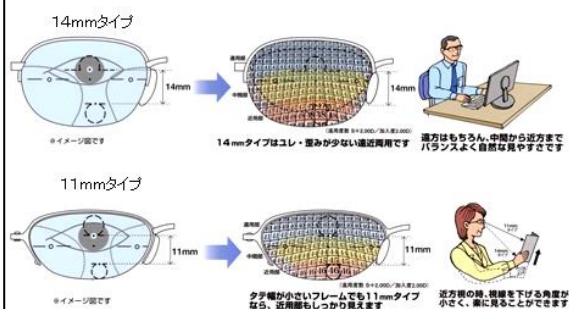


F:凸面測定よりW:装着加入度のほうが実度数が弱い

遠用確認度数について



選べる累進帯長



累進帯長による見え方の違い

14(15)^{mm} タイプ

11^{mm} タイプ

11^{mm}タイプを14(15)^{mm}タイプと比較した見え方の違い(同じフレームの場合。イメージ図)

- 遠方視: 下方で早くぼやけ始めるので狭く感じる
- 中間視: 累進帯長が短いので縦幅が狭い
- ◎ 近方視: 小さい回旋で見え始め、楽で広い

若い方向けの新コンセプトレンズ

リマークは2つの設計タイプ

Active タイプ

Biz タイプ

隠しマーク間のラインより10mm下方位置で測定

- REMARK Active : 0.53D
- REMARK Biz : 0.88D

- ・単焦点 非球面レンズ
- ・REMARK

遠方視

近方視

- ・設計は右眼、左眼用の区別はありません
- ・右眼、左眼用が別々に又、上下方向も決めて設計されています
- ・レンズ全体で同じ度数
- ・レンズ下方にかけて徐々に(プラス側)弱い度数に変化しています

近くを見るとき眼は頑張ります (40cmの場合)

- ・単焦点 非球面レンズ
- ・REMARK Biz

近方視

+2.50D

+0.88D

+1.62D

- ・40cmを見る時はピント合わせのため、水晶体を+2.50D(調節)膨らませ頑張ってます。
- ・2.50 - 0.88 = 1.62Dの調節でハッキリ見えます。
- ・レンズが35%助けてくれるのでその分頑張らなくても楽に見えます。

REMARK 装用による見え方メリット

- パソコンなど近方視における調節量をサポートします。
- 左右別設計で収差補正し、ベースカーブが一般の非球面レンズより深いので側方視や上目遣いしても変形の少ない見え方です。
- 従来の単焦点レンズでは近くを見ることもあるので、遠用度数を弱くすることがありましたが、しっかり遠方視をできる度数で処方ができます。
- 遠近両用とは異なりアレジェ(ベースダウンプリズム)仕様にはなっていないので単焦点との違和感が少ないです。

35

①遮光レンズ(レチネックス)

②機能カラー(キャリアカラー)

今回も、昨年までの形を継投し賛助会員によるセミナーと器械展示を企画した。なかなかゆっくりとは拝見することができないのが残念と毎年意見も出ているが、本研修会の為だけに展示、セミナーを行っていただき、少人数で直接商品を手に取り、話をゆっくりと聞くことが出来るのは、とても貴重な時間であると感じる。セミナーも年々進化する累進屈折力レンズについて、種類や処方上の留意点など拝聴することができ、大変勉強になった。

最後に、今回ご協力いただいた4社に感謝申し上げますとともに、賛助会員の皆様には今後ともご支援いただきたく、WG 一同心よりお願い申し上げます。

研修風景

教育講演



グループワーク（1日目）



懇親会



グループワーク（2日目）



グループ発表



修了証授与



閉会挨拶



集合写真



アンケート結果

第5回 全国視能訓練士学校協会 教員研修会 アンケート

全国視能訓練士学校協会教員研修ワーキンググループ

平成24年8月24日

第5回教員研修会へご参加いただきありがとうございました。

本研修会をよりよいものにしていくため、アンケートへのご協力をお願いいたします。

◇ 教員歴 (年 ヶ月) 視能訓練士歴 (年 ヶ月)

1. 教員研修全体のプログラム構成について

- | | | | |
|---------------|------------|-------|------------|
| ① 教育講演 | (あったほうがよい) | 不要である | どちらともいえない) |
| ② 賛助会員によるセミナー | (あったほうがよい) | 不要である | どちらともいえない) |
| ③ 器械展示 | (あったほうがよい) | 不要である | どちらともいえない) |

2. 教育講演について

- ① 今回の講演の内容についてご意見・ご感想をお書き下さい。

- ② 今後、教育講演で聴いてみたい内容があればお書きください。

()

③ グループワークについて

- | | | | |
|-----------------------------|------------|-------|---------------|
| 1) グループワーク | (あったほうがよい) | 不要である | どちらともいえない) |
| 2) 時間配分は適切だったか | (適切である) | 長い | 短い どちらともいえない) |
| 3) 個々の発表時間 | (適切である) | 長い | 短い どちらともいえない) |
| 4) グループ人数 | (多い) | 少ない | どちらともいえない) |
| 5) その他ご意見、ご要望 (グループワークについて) | | | |

3. 研修会の運営について

- ① 開催日の設定 (よい よくない どちらともいえない)
よくないとすれば、いつ頃がよいでしょうか ()
- ② 全体タイムスケジュール (よい よくない どちらともいえない)
- ③ 事前・直前アナウンスについて、何かご要望、ご意見等ございましたらお書き下さい。

- ④ その他研修会運営に関するご意見、ご要望等

4. 研修会は教育活動の参考になった (なった ならない どちらともいえない)
5. また研修会に参加したいと思いますか (思う 思わない どちらともいえない)
6. コマシラバスの作成が研修会の中にあつた方がよいとおもいますか
(思う 思わない どちらともいえない)
7. 研修会全体に対するご意見、ご要望

~~~~~

最後に、研修会に対するご意見とは別に、今回の研修を振り返って、ご自身の感想などをお聞かせください。

ご協力、ありがとうございました。

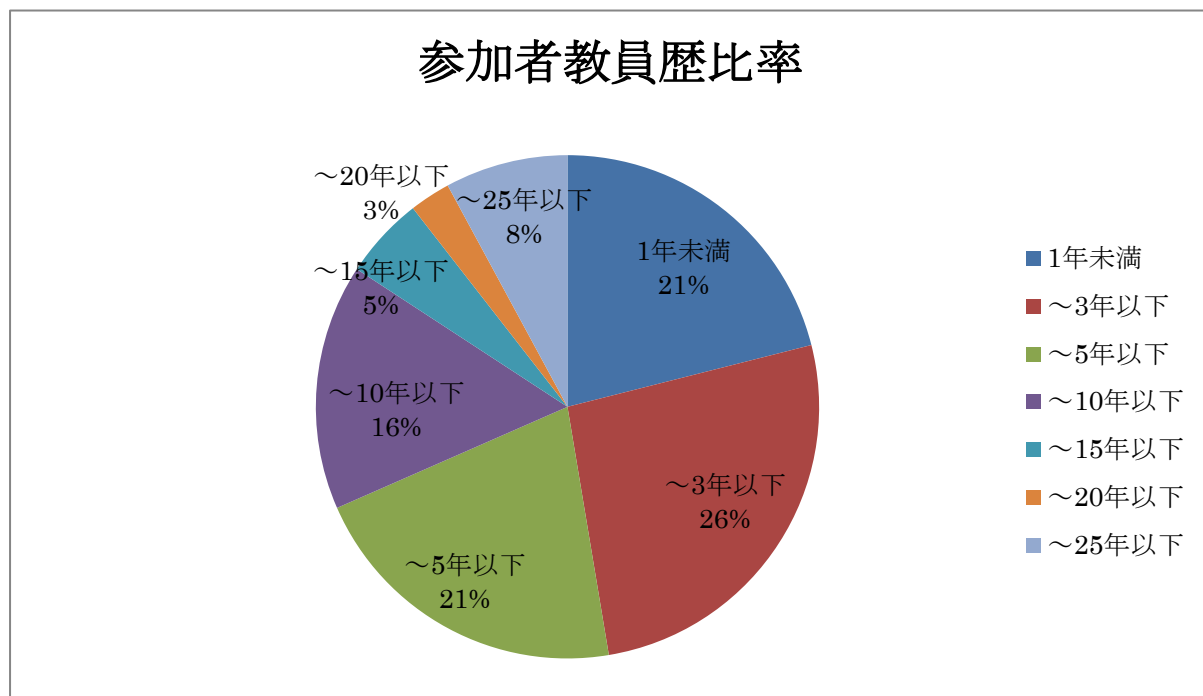
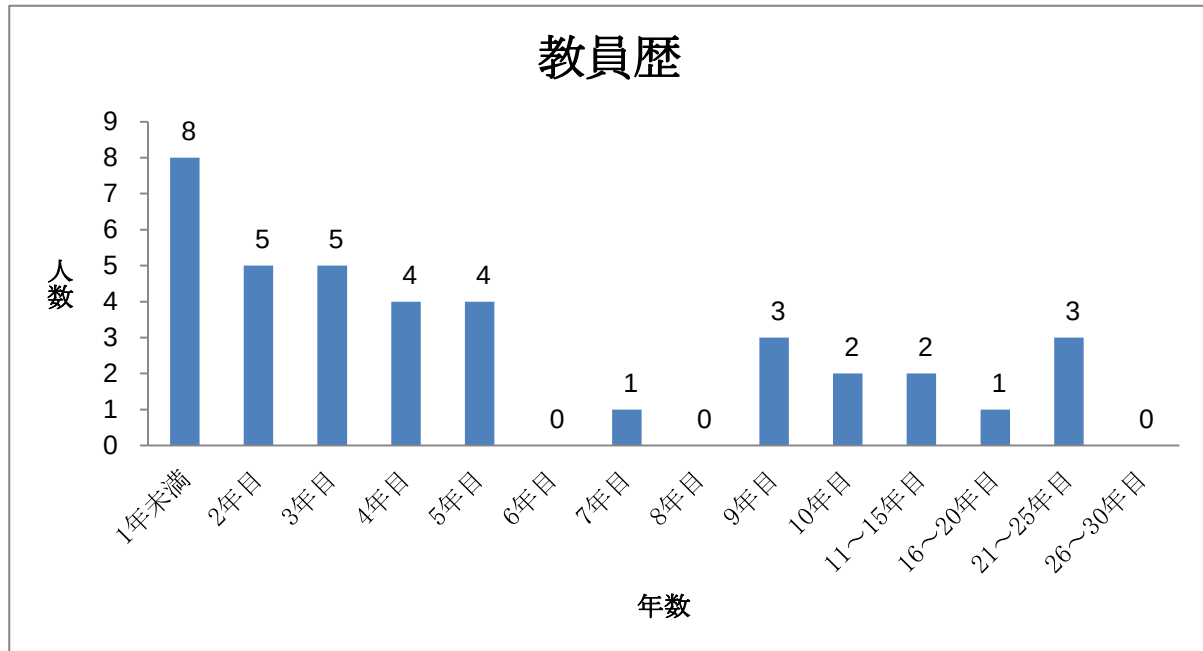
## 第五回教員研修会 アンケート結果

平成 24 年 8 月 23・24 日

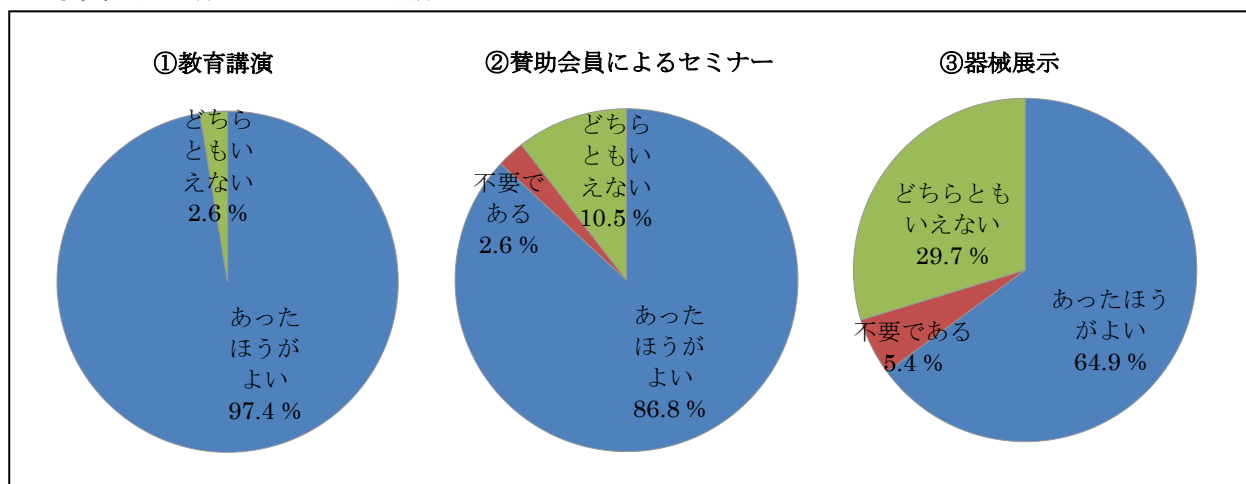
研修参加者数 42 名（全日程通し参加者 41 名）

アンケート回答者数 38 名 （90%）

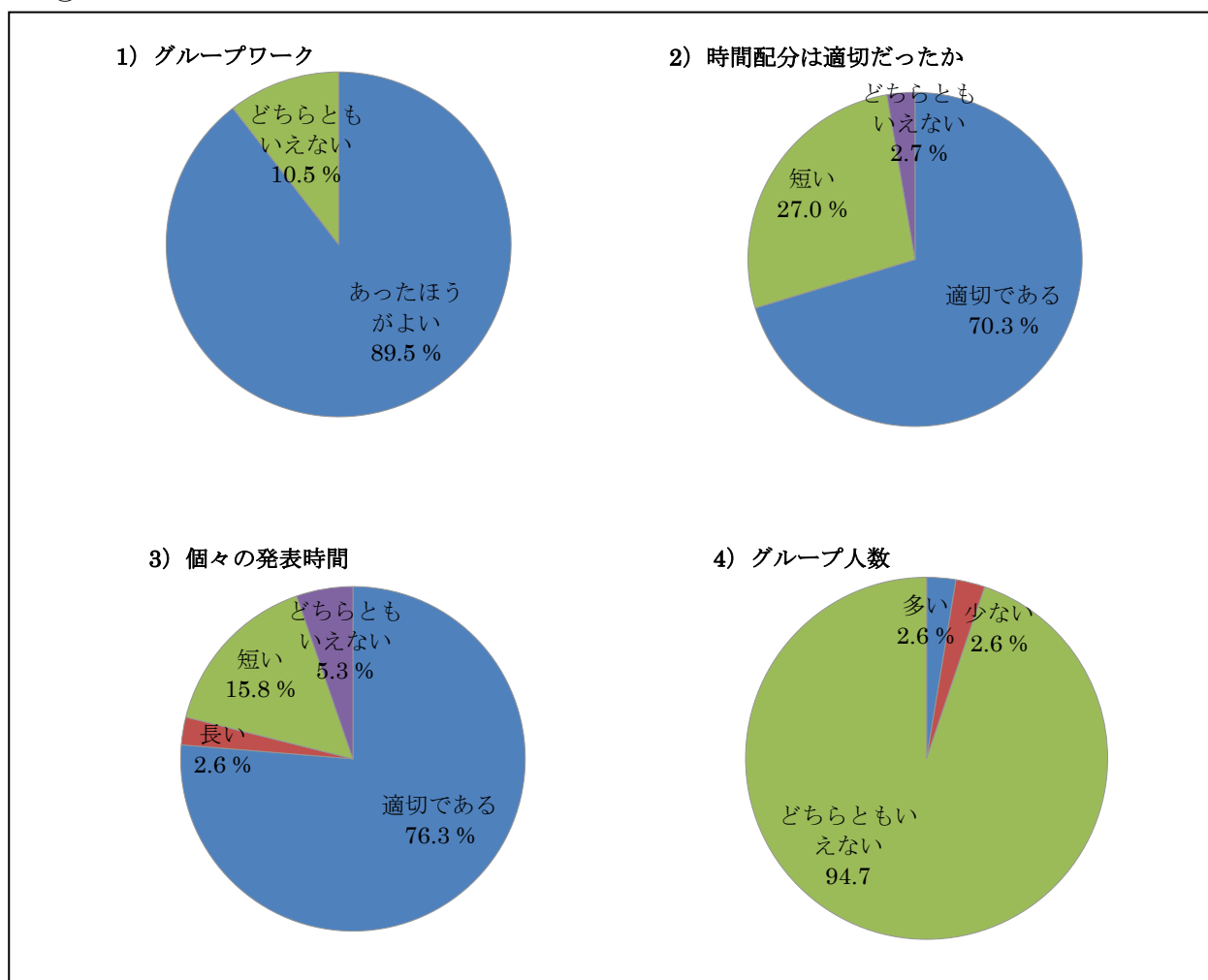
### 参加者教員歴



## 1. 教員研修全体のプログラム構成について

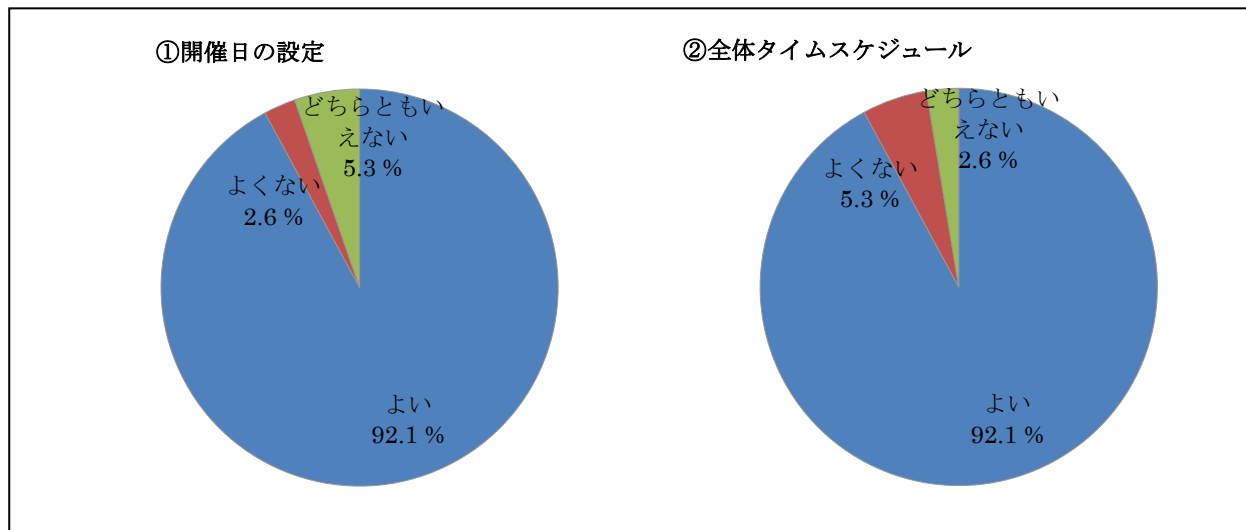


## 2-③. グループワークについてについて

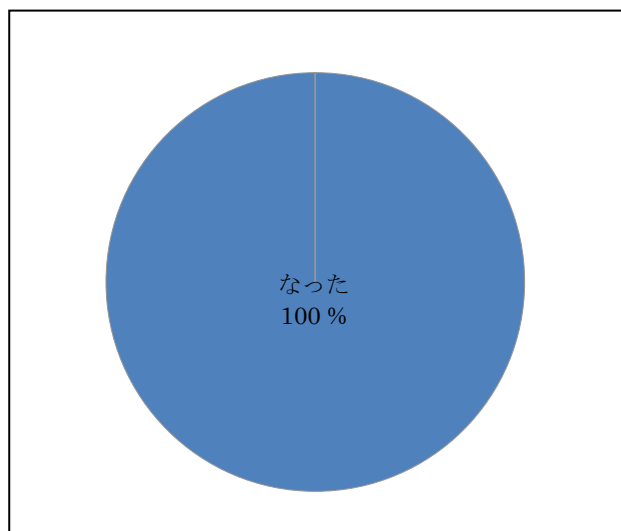




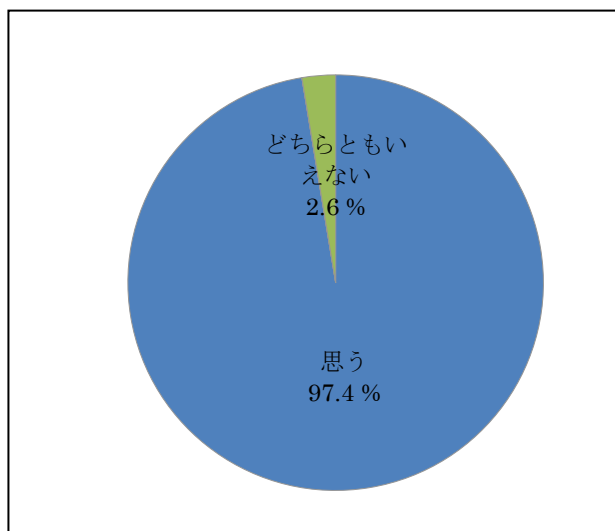
### 3. 研修会の運営について



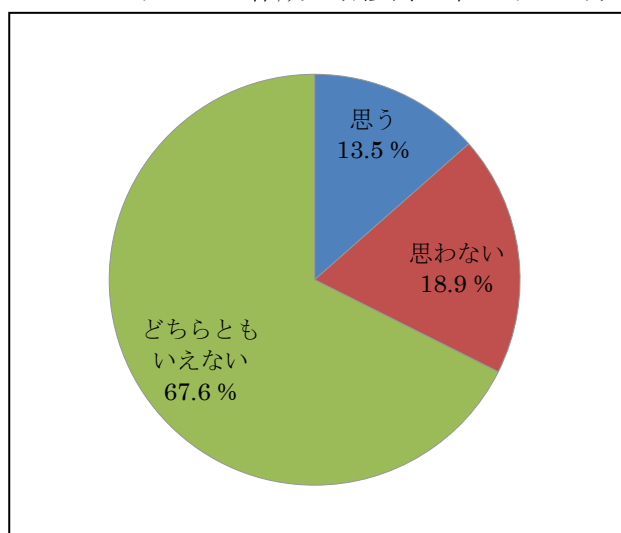
### 4. 教育活動の参考になったか



### 5. また研修会に参加したいと思うか



### 6. コマシラバスの作成が研修会の中にあった方がいいと思うか



|              |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|--------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教育講演<br>について | 意見・感想 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鈴森先生の言葉は、どれも納得のいくものばかりで本当に勉強になりました。まだまだ学生のことが分かっていなかったということに気づきました。</li> <li>・ 時代の流れと共に学生の能力や考え方が変わってきている現状というのを改めて知ることができました。その時代の中で学生と関わっていくということはまずは現状を自分が受け入れ、理解することが大切なのだと感じました。また、学生に対しても目的をしっかり伝え、あやふやにせずきちんと伝えることが学生との信頼を築く上でとても大事であることを知りました。本当に勉強になりました。ありがとうございました。</li> <li>・ 日々、直面し抱えている学生の問題について、情報を共有することができ大変共感できた。いつもの学生への対応を振り返り、良い点（できている点）悪い点（できていない点）の振り分けができ、頭の中を整理することができた。</li> <li>・ 現状の把握、それに対する解釈法に対し大きな枠組みで解決する方法、具体的事例に即して解決する方法が学べて非常に役立った。専門の先生から教えていただかないとわからない気づきがたくさんあり良かった。</li> <li>・ 学校教員の道を選んだ限りは、「視能訓練士」ではなく、「教師」として色々学ばなければならないということを改めて自覚した良い機会になりました。ありがとうございました。</li> <li>・ 大変学ぶことの多い内容で良かったです。教員歴に関係なく各々が学びつつ一緒に考えることが出来良かった。</li> <li>・ 入学前の心理テスト施行には正直驚きました。</li> <li>・ 学生の現状がわかった。学生・保護者の変化に応じて、教員・学校側が対応していかなければならない事が実感できた。ORTとして技術を伝える事も大切であるが、教員としての資質をのばしていかなければならない必要性を感じた。</li> <li>・ 今まで経験的に指導していたところが少なからずあり、不安や疑問がありました。今回の講演で、多くの疑問が解決できました。また、今までに気付いていなかった問題にも気付くことができて大変有意義な講演でした。</li> <li>・ とても良かった。今まで疑問に思いつつも不明瞭であった部分が明確になった。今回の講演で得たことを自分なりに消化吸收し具体化していき現場で実行したい。</li> <li>・ 今の現場に必要な情報であり、実践方法を学ぶことができ、大変有意義であった。</li> </ul> |
|--------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|              |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|--------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教育講演<br>について | 意見・感想 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鈴森先生のご講演、グループワークを通して多くの気づきが得られました。特に鈴森先生が事例発表やグループ発表の後にSVしていただくことにより、重要ポイントのまとめが可能になりました。鈴森先生には2日間にわたりお世話になりまして、大変ありがとうございました。</li> <li>・ 教員同士で悩みの相談、解決のために必要なことを話し合うことができ、これから必要とされることを整理することができてよかった。有意義であった。</li> <li>・ 私は、あまり学生に関わっていないので是非とも思っていなかった（あまりプログラムを見ずに参加したので）ずっとこのテーマで両日行くと知らなかった。講師の先生のバイタリティあふれる話を適切な助言に感心した。本学では、対人技術演習やキャリアデザインの必須授業・学生相談室などそれなりに解決ができており、転学・退学希望が専攻教員で話し合い学生の要望に従っている。</li> <li>・ 今の学生の現状に合わせた対応、また、考え方など非常に勉強になりました。また、グループで他校の教員の方々の経験談などを聞くことができ、これからの学生・親の対応について参考になるものばかりでした。</li> <li>・ 各学校の先生方と話ができ、同じ悩みを抱えていることが分かって良かったです。教育という所に関しては、教育するための教育をうけていないので、これからもこういった研修があると勉強になり、いいと思いました。また、同じような講演を聞きたいです。</li> <li>・ これからの教育活動にとっても参考になった。特に印象的だったのが、「ほめ方」に関する内容、普段あたりまえにしていることをほめてあげる事の重要性を改めて感じた。「ほめ方」、「怒り方」は難しいと日々実感しているが、具体的な対応を心がけ、よりよい教育活動に努めたいと思う。</li> <li>・ 今の学生の実態を学び滋慶グループのサポート体制・運用がとても素晴らしく思いました。カウンセラの重要性を痛感しました。個々の事例についてのSVも参考にし、今後の学生指導に生かしていきたいと思います。</li> <li>・ 業務の日に直結した内容だったため、大変参考になりました。</li> <li>・ 一般論の内容だけでなく、具体的に実践されていることも含まれており、分かりやすかったです。</li> <li>・ 非常にためになった。教員として教科を教えるだけでなく、教育者として学生と関わっていく重要性や難しさが理解できた。今回学んだ内容で実現やすぐには難しいこともあるが、すぐに実行できること（ほめる事、スキルがない学生への対応等）を行っていきたいと思う。</li> </ul> |
|--------------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|              |       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|--------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教育講演<br>について | 意見・感想 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学生にどう対応して良いのかいつも不安がつきまとい、様々な講演に行くのですが、いつもその辺りはわかっているけど、その先こういう時どうすればよいのかとなかなか自分の一番聞きたい所が省けてしまう内容が多い中、今回は非常に具体的な内容で、自分が一番知りたい所に触れていただけ本当に勉強させていただきました。今まで自分がやってきた事が良かったのか、悪かったのか見直すことが出来た事、今、現在関わっている学生の対応策が見つかった事はとてもうれしく思います。又、子育てと重なる事が多く、自分の子供にもどう関わっていくべきかなど仕事と家庭の両方に生かすことが出来そうで大変うれしくパワーが出てきました。ありがとうございました。</li> <li>・ 実際に学科のなかで、どのように対処したらいいのか困っていた問題があったが、今回の講演、SVによって対策の方法がわかり、とても参考になった。</li> <li>・ 学生指導について日常の悩みが少し軽くなりました。初めはお話を聞いてさらに不安になりましたが、具体的なアドバイスをいただき、あすから前向きに頑張れそうなきがします。</li> <li>・ 日頃、学生面談で悩んでいたことに対する、道標を呈示いただいて大変勉強になりました。カウンセリングスキルがまだまだ未熟ですので、質を向上できる少しのきっかけになりました。カウンセリング法に悩むことが多いですが、現在の学生の状況を具体的に知ることができよかったです。</li> <li>・ 今後の学生指導に役立てていきたいと思います。</li> <li>・ 学生の気持ちに寄り添うことを念頭にしながら学生対応、面談にあたってきたつもりでいましたが、「精神論」にとどまっていたのではないかと気づかせていただく機会となりました。具体的に現状を一つずつひも解いて話し合い、問題点と解決策を冷静に学生と一緒に考え、導いていけるようにしていきたいと思います。また、改めて、サポートアンケートの学生指導への活用を実施していきたいと思います。鈴森先生ありがとうございました。</li> <li>・ 初めて参加させていただき本当に同じ悩みを持ち、どうすれば良いかと検討している共通する意見が聞けて良かった。アドバイスをいただく事により、今後の学生対応にいかせることができると思います。心療内科に通院するような学生に対しての接し方や対応の仕方をお聞きしたいです。</li> <li>・ ORT としては、色々学んできていても、「教員」としては勉強してきていないので、自分だけで学ぶには限界もあるし、正しいのかもわからない。そういう意味で、今日の内容はとてもためになった。得るものが多かった。</li> </ul> |
|--------------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|              |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------------|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教育講演<br>について | 意見・感想          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「目からウロコ」という内容も多く、日々の学生に対する対応として大変勉強になりました。他学校の先生方と悩みを共感でき、いろいろな話を聞くことができ有意義な時間となりました。</li> <li>・ 自分でかかえていた問題を解決する手がかりを得ることができ、とてもためになりました。また、すぐ実践できるようなスキルも身につけられ良かったです。また、現在の学生のおかれている状況を改めて感じるができるよいきっかけとなるものでした。</li> <li>・ 学生指導については、「本気」で「本音」で向き合う事の大切さを学びました。学生本人の将来が「幸せ」となるように一緒に方向性を考え支援していきたいです。</li> <li>・ 大変勉強になり考えさせられました。まず、現実をうけとめるということが、まだ出来ていなかったのも、今回のご講演をお聞きして、一歩前に進めた気がします。学生、保護者と向き合う前に、私自身ともう一度しっかり向き合い自覚し、日々考えていかないといけないと感じています。本当に素晴らしいご講演でした。</li> <li>・ 視能訓練士は、技術を教える、という考えが強いところがあり、学生自身に目を向けた教育、人間を育てるという力がまだ足りない部分がある。今回の講演で、基本的な学生の対応の方法を具体的に示していただけて良かったです。</li> <li>・ 出来る事なのかできないのか、それをやろうとしているのかやろうとしていないのかを判断することが大切。スキルの問題であれば、初めから指導しなければいけない。など（どうしてもわかっているはず、出来るはずと思ってしまうところがある）確認することが大事であること。難しいが、しっかりやっていかなければいけないと思います。</li> </ul> |
| 教育講演<br>について | 今後聞いて<br>みたい内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回のように学生の教育に関する講演を今後も聴きたいです。</li> <li>・ 来年も同じものでお願いしたい。</li> <li>・ 同様の内容を改めてお願いします（認識する為）。</li> <li>・ コーチングを利用した面談方法。</li> <li>・ 青年心理、現代の傾向。</li> <li>・ ベテランの先生の模擬講義。</li> <li>・ カリキュラム、教育方略など教授法に関する内容。</li> <li>・ 人間関係について。</li> <li>・ エンロールメントマネジメント。</li> <li>・ 勉強できない学生に対しての良い教え方。</li> <li>・ 今回のような、各学校の現状を話せる時間があるとうれしいです。</li> <li>・ 授業に効果的な話し方（話術）。ひきつけられる授業のような感じの方法論。</li> <li>・ シラバス作り。学生が理解できる授業作りをどう行っていくか。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

|                        |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|------------------------|----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教育講演<br>について           | 今後聞いて<br>みたい内容 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ パワーポイント・板書・プリントの利点と欠点。補習・小テストを授業に取り入れる？</li> <li>・ 青年期の心理特性に関すること。</li> <li>・ また、自分が参加するのであれば、今日初めて参加したのでコマシラバスなどもききたいが、今日の内容を続けてほかの教員にも学ぶ機会をともしう。</li> <li>・ アスペルガー、うつ病など、学生の心の病に対してどのように対応すればよいのかもっと詳しく。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| グ ル ー プ<br>ワークに<br>ついて | 意見・要望          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表時間が各班長い。予定の時間は良いと思う。経験年数の様々な先生とお話しができ、良かったと思う。</li> <li>・ グループ分けは、若手・経験者が混在していて勉強になりました。</li> <li>・ 全国の色々な学校の先生方のお話が伺え、参考になりました。</li> <li>・ お互いの悩みを共有できて良かった。グループワーク・スパーバイズしていただくことで、どう対応したらよいのか具体的にイメージする事が出来て良かった。2日目は、発表資料作成に手いっぱいになってしまったが、もう少し議論する時間がほしいと感じた。</li> <li>・ 3日間にしてはいかがでしょうか？</li> <li>・ 学生に関する指導法の悩みを共有でき、また対策を一緒に考えることができよかったです。時間がもう少しあるとうれしかったです。</li> <li>・ 経験年数・所属等、考慮されたグループに分けられたグループワークは、討論の際に種々の養成校の先生方の話を聞くことができ大変良いと思います。決められた発表時間が短かったのか予定時間が延長した感じでした。休憩時間によって調整は可能でした。</li> <li>・ 若い真剣な教員の方達と知り合いになり、意見を交換できるのは楽しいことである。</li> <li>・ 他学校の先生方の悩みも同じであり、意見交換等でき、とても良かったです。</li> <li>・ 全体の中で発表する緊張感もなく、自由に話し合えることが良かった。</li> <li>・ 他の学校の様子などが気軽に聞くことができるので今後もあった方が良いでしょう。</li> <li>・ 本当に色々な意見を聞く事ができ、大変勉強になりました。</li> <li>・ 内容が濃かったのでまとめる時間が足りなかった。発表資料を作るのにも時間がかかる。</li> <li>・ 今回の内容だと人数はベストだったのではないのでしょうか。一人一人話す時間も持て、良かったです。</li> <li>・ 情報の共有ができ、同じ問題点を持っていることで安心感も得られました。</li> </ul> |

|             |                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| グループワークについて | 意見・要望          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いろいろな年代の視能訓練士の方々と出会えて、お話できてとても勉強になりました。ひとりで悩んでいたことも解決策をいろいろな方法で明示いただいたのでとても良かったです。</li> <li>・ グループワークをやることでいろいろな方の考え方、問題の解決の仕方などを聞くことが出来ます。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 研修会運営について   | 開催日の設定         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 真夏以外でお願いします。</li> <li>・ 涼しげな時期。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|             | 事前・直前アナウンスについて | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 年間スケジュールに組み込まなければならないため 4 月頃にアナウンスしていただければ幸いです。</li> <li>・ 事前・直前アナウンス等、何度もご連絡いただきありがとうございます。事務局の方のご高配に感謝申し上げます。</li> <li>・ お疲れ様です。現在のアナウンスで結構です。</li> <li>・ 事前・直前アナウンスがあり、問題なく研修を受けることができました。</li> <li>・ 従来のおおりに、メールでの配信で構わない。</li> <li>・ 研修内容が今回のように事前にわかるとうれしいです。</li> <li>・ なかなか休憩も取りにくいタイトスケジュールだったので、もう少しゆとりがほしい。2 日間でもかまわないが、1 日目の AM、2 日目の PM が中途半端しか残らないので他の予定もいれにくい。時間ももったいない。AM・PM のどちらかにまとめるか、講習自体を増やすかなど。</li> <li>・ 今後も今回と同様のアナウンスで良いと思います。</li> <li>・ 今回、パワーポイントの資料を先にいただけたことで予習ができて良かったです。</li> </ul> |
|             | その他            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 器械展示をゆっくりみる時間が少なかったように思う。</li> <li>・ 学生を使った何かとかないでしょうか？折角、学校が会場になっているので。</li> <li>・ 準備に関わってくださった先生方、お忙しい中ありがとうございます。</li> <li>・ 全体タイムスケジュールが少し短い気がします。</li> <li>・ 大阪医療福祉専門学校は、新大阪駅前で交通の便が大変よく懇親会の会場も研修会場の近隣で大変良いと思いました。</li> <li>・ 運営お疲れ様。ありがとうございますの一言です。</li> <li>・ 研修時間が延長することが十分考えられるので、時間的に余裕をもってスケジュールを作ってほしいです。よろしくお願いします。</li> <li>・ 準備等、大阪医療福祉専門学校の先生方お手数をおかけして、本当にありがとうございました。</li> <li>・ コマシラバス作り（新任教員用）、実践内容（すべての教員向け）を隔年開催にしたらいと思う。今後も大阪で開催してほしい。</li> </ul>                                            |

|           |     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 研修会運営について | その他 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ いつも会場・プログラム・進行など本当にお手間をおかけし、お忙しい仕事の合間をぬってやっていただき感謝申し上げます。</li> <li>・ 準備などいろいろ大変だったと思いますが、ありがとうございます。</li> <li>・ お忙しい中、ご準備をしていただきましてありがとうございました。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 研修会全体について |     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コマシラバスの作成は、毎回ではなく定期的にあったほうが良いと思う。</li> <li>・ 今回は、問題のある学生への対応の話題が中心でしたが、個人的には（教員歴の浅い私には）講義スキルの向上がより切実な課題なのでコマシラバス作成も行っていたらいい。</li> <li>・ ケーススタディを出しながら、どう対応するか受講者が意見を出していくような研修会があったら良いなと感じました。</li> <li>・ コマシラバス作成については、数年に 1 回は入れていただいた方がよいと思います。教育歴の浅い教員が研修会に参加する場合、得られることも多いと思います。</li> <li>・ 今回の研修は、多様化する学生に対してどのように接することが教員として求められているかを知ることができた。全てをすぐに実行することは難しいが、一つずつ取り組もうと思える目標ができた。</li> <li>・ 新大阪からすぐの立地条件、恵まれた施設、各グループに設置したパソコンと大阪医療福祉専門学校の先生（うかがうと ORT 教員 10 名とか、又人間関係もよさそう）、最適の場所で研修を行ってくださり心から感謝いたしております。「男はつらい」もとても楽しかったです。</li> <li>・ 問題を共有し、考えていくことはとてもよいと思う。色々な考え方を知り、自分だけではなく他の方も同じ様に問題を抱えていることを安心した。新しい知識・考え方を得られて良かった。これからもぜひ続けてほしいです。</li> <li>・ こうした企画をしていただき、ありがとうございました。スタッフの方々のご苦労ははかりしれませんが、日々の教育業務に活かしていくことが大切かと思いました。HOYA さんの講演も分かりやすくよかった。</li> <li>・ 研修を 1 回受けたら次は受講しないというのではなく、やはり受講し続けていく事が大切だと思います。そのためコマシラバスの作成も良いですが、今回のような最も身近な問題点を解決できるような内容のもの、あるいは、別の内容のものと変えていく事も良いのではないかと</li> <li>・ とてもためになりましたが、鈴森先生のご負担が大きかったのではと心配です。</li> <li>・ 教育についての研修は、非常に勉強になった。今回は参加して良かったと思う。</li> <li>・ 実際の症例に対してご意見をいただく機会があまりないので良かったです。また、各学校の先生方とも交流ができ、意見交換ができるいい機会になりました。</li> <li>・ ご準備くださった先生方ありがとうございました。日々の指導や仕事のあり方を考え直すよい機会となりました。</li> <li>・ 時間も流れ良く、本当に良かったと思います。</li> <li>・ 大変良かったです。勉強になりました。</li> <li>・ 懇親会では、学校でかたまりすぎなくても良いかと思います。</li> </ul> <p>このような会を開いていただきありがとうございます。</p> |



|    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 感想 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回の２日間を振り返り、自分の仕事の重さというのを改めて感じました。</li> <li>・ 鈴森先生のご講義とスパバイズは、大変参考になりました。グループワークでは、１年目、２年目の先生が積極的に話をしようとしていて、時々、的外れでしたが頼もしく感じました。学校協会の会員のみにて情報を共有できる掲示板みたいなものがあれば、もっと色々な情報を共有できて良いのではないかなと感じました。後期からの学生指導に役立つものがたくさん得られ満足な研修でした。</li> <li>・ もう少しやれることがあることを色々な場合で気づかされたので、良かったと思います。今後の参考とし、教員間で共有していきたいと思います。</li> <li>・ まだまだ経験不足で学生対応も不十分でうまくいきませんが「誠意」だけはもって対応はしていこうと改めて思いました。</li> <li>・ 教員としての問題は、個人の（学生）問題だけではなく、全国皆さんと共通していることを再認識しました。お互いに学び合い視能訓練士教育にあたりたい。</li> <li>・ 学生を信じて、自分も教員としてスキルを向上させ頑張ってゆきたい。H25年度からの国試内容の変更の件についてもっと情報がほしい。</li> <li>・ 日常業務に直接生かせるような内容でとても良かったです。またこのような研修会を実施して頂けたらと思っています。</li> <li>・ 全国の学校の先生方と意見交換でき、とても有意義でありました。ありがとうございました。</li> <li>・ 教員が学生・親とどのようにかかわっていけばよいのかの根本について学ばせていただき、多くの気づきが得られました。ワキンググループの先生方、赤松会長をはじめ、横田事務局長、大阪医療福祉専門学校の先生方には大変お世話になりました。ありがとうございました。来年も楽しみにしています。</li> <li>・ 若い先生がんばってください！！</li> <li>・ 初めてこの研修に参加させていただきましたが、非常に参考になるものばかりで来年もぜひ参加させていただきたいです。ありがとうございました。</li> <li>・ 何度も参加させていただいていますが、今回はコマシラバスではなく、学校で悩んでいることを皆で共有できて、また同じ悩みを皆も抱えているということがわかり、明日からまたがんばっていけそうです。SVもとても参考になり、今後に生かしていきたいです。準備や当日の運営など本当にお忙しい中ありがとうございました。</li> <li>・ 他校の先生方と交流する事ができ、とても貴重な経験になりました。学生への対応について、まだまだ学びたい事があるので定期的に同じテーマでやっていただきたいと思います。</li> <li>・ 今回初めて参加させていただきましたが、講演会、グループワーク等とても勉強になり、参加して良かったと思います。カウンセラ設置を学校責任者に交渉します。来年もよろしくお願いいたします。</li> <li>・ 教員自身がまずコミュニケーション能力が必要だと感じました。他の学校でも同じように悩まれていることがわかり、情報交換がもう少し密にできればと思いました。</li> </ul> |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 感想 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教員として4か月しかたっていないので、まだ何をどのように行ったらよいかわからず、日々悪戦苦闘しています。今回学んだことを少しでも生かして学生にフィードバックしていきたいと思います。ありがとうございます。来年もぜひ参加したいと思います。</li> <li>・ 他の学校の先生ともかなりうちとけて話すことができました。これも主催する方々のおかげだと思います。いろいろな情報を共有・共感できたことが良かったです。</li> <li>・ 明日からの仕事に役立てる事ができるよう、もう一度自分なりに理解を深めたいと思っています。ありがとうございました。</li> <li>・ 実際に教育の方法を学び、教員になったわけではないため、今回のような研修会を行っていただき感謝しています。来年もぜひ参加したいと考えています。</li> <li>・ 今回学んだことを実践し、よりよい学生指導にあたりたいと思います。ありがとうございました。</li> <li>・ 他校の様子もきけて非常に参考になりました。</li> <li>・ とても有意義な時間を過ごす事ができました。他校の先生方とお話する事ができ、学校の特徴や方針を聞き、自校でも参考にすることができそうです。</li> <li>・ 日頃何に関しても手探りでやっていることが多い状態なので、忙しくて時間がとれないと言いながらもちゃんと勉強する機会を持つのは大切だなと感じた。他の学校と意見交換できるのは良かった。</li> <li>・ 大変充実した内容でした。一つでも日々の仕事に活かせられると良いと思います。</li> <li>・ 初めての参加でしたが、多くの先生などともお話ができ、とても貴重な経験となりました。学生への対応を見直していくきっかけとなりました。明日からの業務に役立てていきたいと感じました。</li> <li>・ 男性のORTの多さにびっくりしたと同時に安心しました。ORTの教育を盛り上げていきたいです。</li> <li>・ 視能訓練士の全体的なレベルについて考えさせられた。質を落とさないようにするためには、教育中からいろいろ手助けしていかなければならないことを感じた。</li> <li>・ みなさんとお話が出来て良かったです。毎日頑張っていらっしゃる話も元気をもらうことが出来ます。</li> </ul> |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

# アンケート単純集計

|                                   | 設問                  | 回答           |       |               |               |     | 合計数 |
|-----------------------------------|---------------------|--------------|-------|---------------|---------------|-----|-----|
| 教員研修全体の<br>プログラム構成に<br>ついて        | 教育講演                | あったほうが<br>よい | 不要である | どちらとも<br>いえない |               |     |     |
|                                   |                     | 37           |       | 1             |               |     | 38  |
|                                   |                     |              |       |               |               |     |     |
|                                   | 賛助会員に<br>よる<br>セミナー | あったほうが<br>よい | 不要である | どちらとも<br>いえない |               |     |     |
|                                   |                     | 33           |       | 4             |               |     | 38  |
|                                   |                     |              |       |               |               |     |     |
| グループワークに<br>ついて                   | グループ<br>ワーク         | あったほうが<br>よい | 不要である | どちらとも<br>いえない |               |     |     |
|                                   |                     | 34           |       | 4             |               |     | 38  |
|                                   |                     |              |       |               |               |     |     |
|                                   | 時間配分は<br>適切だった<br>か | 適切である        | 長い    | 短い            | どちらとも<br>いえない | 無回答 |     |
|                                   |                     | 26           | 0     | 10            | 1             | 1   | 38  |
|                                   | 個々の<br>発表時間         | 適切である        | 長い    | 短い            | どちらとも<br>いえない |     |     |
|                                   |                     | 29           | 1     | 6             | 2             |     | 38  |
|                                   | グループ<br>人数          | 多い           | 少ない   | どちらとも<br>いえない |               |     |     |
|                                   |                     | 1            | 1     | 36            |               |     | 38  |
|                                   |                     |              |       |               |               |     |     |
| 研修会の<br>運営について                    | 開催日の<br>設定          | よい           | よくない  | どちらとも<br>いえない |               |     |     |
|                                   |                     | 35           | 1     | 2             |               |     | 38  |
|                                   | 全体タイム<br>スケジュール     | よい           | よくない  | どちらとも<br>いえない |               |     |     |
|                                   |                     | 35           | 2     | 1             |               |     | 38  |
| 研修会は<br>教育活動の<br>参考になったか          |                     | なった          | ならない  | どちらとも<br>いえない |               |     |     |
|                                   |                     | 38           | 0     | 0             |               |     | 38  |
| また参加したいと<br>思うか                   |                     | 思う           | 思わない  | どちらとも<br>いえない |               |     |     |
|                                   |                     | 37           | 0     | 1             |               |     | 38  |
| コマシラバスの<br>作成が研修会の中<br>にあったほうがいいか |                     | 思う           | 思わない  | どちらとも<br>いえない | 無回答           |     |     |
|                                   |                     | 5            | 7     | 25            | 1             |     | 38  |

## 会長総評

長年の懸案事項だった教員研修が開催されるようになり今回で第5回目の研修を好評のうちに無事終了することができました。全国から20校、33名が参加され、アンケート結果にもありますように、大変有意義な研修となりました。

教育を取り巻く社会情勢はますます厳しくなっています。まず18歳人口の減少があげられます。1992年の205万人から2012年には119万人と激減し、2017年まで横ばいで2020年には117万人、2025年には109万人になると予測されています。また少子化に加えて、自主的学習ができない学生の増加、ITの進化による生活習慣の変化、子どもの自由を尊重し友達のような親子の関係を望む保護者の意識などそれに対応していかなければならない教員は日々悪戦苦闘していることは加盟校全体に共通しています。

上記のように社会情勢や学生・保護者の気質の変化に伴い、学校に期待されることも以前と違ってきています。国家試験合格ということは重要な必達目標ではありますが、最大目標ではありません。高度職業教育機関として視能訓練士専門教育はもちろんですが、学生が「社会人基礎力」を培って眼科業界に輩出していかなければならないというミッションが学校にはあります。社会人基礎力とは、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の3つの能力=12の能力要素：アクション（主体性、働きかけ力、実行力）シンキング（課題発見力、計算力、創造力）チームワーク（発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力）から構成されており、「職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力」として、経済産業省が2006年から提唱しています。企業や若者を取り巻く環境変化により、「基礎学力」「専門知識」に加え、それらをうまく活用していくための「社会人基礎力」を意識的に育成していくことが今まで以上に重要となってきています。

そのような情勢に対応するために、今年度は教育講演として「学生に変遷と対応方法」というテーマで滋慶トータルサポートセンター・センター長の鈴木剛志先生をお招きし、ご講演をいただきました。また今回は教育講演だけでなく、引き続きグループワークのスーパーバイザーとして2日間ご教示をいただきました。教育講演の内容は「学生現状をマクロとミクロの観点から共有理解する」で①若者の意識傾向②サポートアンケートからみた学生傾向と背景③指導者に求められること、に分けて大変わかりやすく教えていただきました。また、事例発表やグループワーク発表のあとに鈴木先生にご助言、ご教示いただいたことで、さらに理解が深まりました。学生や保護者の現状とそれに対応するキャリア教育（指導と支援の観点）について明日からの教育にいかせる内容で、参加された先生方にも大変好評でした。しかし、社会情勢、学生・保護者気質は刻々と変化します。私たちもその変化に対応すべく、フレキシブルな考え方を持って教育にあたらねばならない時代になっています。今後もこのような研修が必要と考えます。

今回の教員研修においても、昨年に引き続き賛助会員様到大変お世話になりました。

HOYA 株式会社様に「最新の累進屈折力レンズ」についてランチョンセミナーをしていただきました。大変わかりやすい内容で勉強になりました。

TMI 様、HOYA 様、JFC 様には今年度も器械展示をしていただきました。新しい器械も展示していただき、充実した研修会となりました。

加盟校教員の多くは教職課程を履修することなく臨床から教育現場へ赴任しており専門実習教育以外においてはとまどいもあると考えます。特に新人教員にとっては、授業の組み立て（シラバス、コマシラバスなど）プレゼンテーション（板書、副教材、パワーポイント、声のトーンや身振り手振りなど）評価方法等、基本的な事柄から勉強せねばならず、不安も多くあると推測されます。それに加え、経験を積んだ教員にとっても学生対応には苦悩することも多々あると思います。また前述したように、学校に求められるキャリア教育にも対応していかなければなりません。そのためにも全国視能訓練士学校協会教員研修では今後も「教育とはなにか」をメインテーマとして継続していき、ますます有意義な研修にしていくことが大切だと考えます。

お忙しい中、企画から開催、報告書作成まで大変ご尽力いただきました、教員研修ワーキンググループの諸先生方にこの場をお借りして深く感謝申し上げます。

全国視能訓練士学校協会  
会長 赤松滋子

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

## 編集後記

教員研修も今回で 5 回となりました。日本視能訓練士協会の単位認定事業に認めてもらうべく申請をする予定となっていたこともあり、過去 4 回は同じ形態を踏襲し行ってきました。今回の研修では、学生とその親の特質を知りその対処法を学ぶことを目的に、従来行っていたコマシラバス作成は省き、2 日間、「学生の変遷と対応方法」というテーマでじっくり学ぶこととし、滋慶トータルサポートセンターの鈴森剛志先生にご講演いただきました。

2 日間この教育講演だけということで、ご参加いただいた先生方に満足 of いくものとなるか不安ではありましたが、アンケートの結果をご覧いただいてもお判りになるかと思いますが、大変、充実したものとなりました。これは鈴森先生が、実際に学生や親に対して実践されている経験と滋慶学園グループや他で研修、ご講演を行っていらっしゃる経験によるものであり、講師としてお招きしたことが正解であったと考えております。今回の教員研修会が、今後の視能訓練士教育において少しでもお役に立てることがあったのであれば有り難いと思っております。

しかしながら、コマシラバス作成を望む意見もあり、次回につなげられたらと思います。今年度第 2 回の総会で可決されたように、全国視能訓練士学校協会の運営を各養成施設が何かを担当する形態に発展することとなりました。教員研修ワーキンググループのメンバーも変更が予定されておりますが、より良いものになるようになるよう努力して参りたいとワーキンググループメンバー一同思っております。

この教員研修会は専任教員単位制度の単位とは現段階ではなっておりませんが、単位として認められ、ますます発展し、視能訓練士の発展につながればと思っております。そのためにも、まずは次回の教員研修会をさらに充実したものにできるよう努力いたしますので、今後ともご協力下さいますようお願い申し上げます。

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

全国視能訓練士学校協会 加盟校一覧

|    | 施設名             | 学科名                             | 所在地      |
|----|-----------------|---------------------------------|----------|
| 1  | 吉田学園 医療歯科専門学校   | 視能訓練学科                          | 北海道札幌市   |
| 2  | 北海道ハイテクノロジー専門学校 | 視能訓練士学科                         | 北海道恵庭市   |
| 3  | 東北文化学園専門学校      | 視能訓練士科                          | 宮城県仙台市   |
| 4  | 東北文化学園大学        | 医療福祉学部リハビリテーション学科<br>視覚機能学専攻    | 宮城県仙台市   |
| 5  | 仙台医健専門学校        | 視能訓練科                           | 宮城県仙台市   |
| 6  | 新潟医療技術専門学校      | 視能訓練士科                          | 新潟県新潟市   |
| 7  | 国際医療福祉大学        | 保健医療学部 視機能療法学科                  | 栃木県大田原市  |
| 8  | 専門学校日本医科学大学校    | 視能訓練士科                          | 埼玉県越谷市   |
| 9  | 帝京大学            | 医療技術学部 視能矯正学科                   | 東京都板橋区   |
| 10 | 東京医薬専門学校        | 視能訓練士科                          | 東京都江戸川区  |
| 11 | 首都医校            | 視能療法学科                          | 東京都新宿区   |
| 12 | 北里大学            | 医療衛生学部リハビリテーション学科<br>視覚機能療法学科専攻 | 神奈川県相模原市 |
| 13 | 平成医療専門学院        | 視能訓練学科                          | 岐阜県岐阜市   |
| 14 | 東海医療科学専門学校      | 視能訓練科                           | 愛知県名古屋市  |
| 15 | 愛知淑徳大学          | 医療福祉学部医療貢献学科<br>視覚科学専攻          | 愛知県名古屋市  |
| 16 | 名古屋医専           | 視能療法学科                          | 愛知県名古屋市  |
| 17 | 洛和会京都厚生学校       | 視能訓練士学科                         | 京都府京都市   |
| 18 | 京都医健専門学校        | 視能訓練科                           | 京都府京都市   |
| 19 | 大阪医専            | 視能療法学科                          | 大阪府大阪市   |
| 20 | 大阪医療福祉専門学校      | 視能訓練士学科                         | 大阪府大阪市   |
| 21 | 人間科学大学          | 医療福祉学科 視能訓練専攻                   | 大阪府摂津市   |
| 22 | 神戸総合医療専門学校      | 視能訓練士科                          | 兵庫県神戸市   |
| 23 | 川崎医療福祉大学        | 医療技術学部感覚矯正学科<br>視能矯正専攻          | 岡山県倉敷市   |
| 24 | 松江総合医療専門学校      | 視能訓練士科                          | 島根県松江市   |
| 25 | 福岡国際医療福祉学院      | 視機能療法学科                         | 福岡県福岡市   |
| 26 | 大分視能訓練士専門学校     | 視能訓練士科                          | 大分県大分市   |
| 27 | 西日本教育医療専門学校     | 視能訓練士学科                         | 熊本県熊本市   |
| 28 | 九州保健福祉大学        | 保健科学部 視機能療法学科                   | 宮崎県延岡市   |

平成 24 年度  
教員研修会報告書

平成 25 年 3 月 31 日発行

発行 全国視能訓練士学校協会

平成 24 年度事務局 大阪医療福祉専門学校  
〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原 1-2-14

〈 許可無く複写転載を禁ず 〉